

千 曲 市 環 境 審 議 会 概 要

平成 30 年 2 月 20 日 13 : 30 ~
人権ふれあいセンター2 階 会議室

出席者 委員 10 名出席

傍聴者 なし

1. 開 会 副会長
2. 会長あいさつ 会長
3. 市長あいさつ 副市長

4. 諮 問

諮問書交付

5. 審議事項 (1) 平成 30 年度一般廃棄物処理実施計画 (案) について

審議事項 (1) 平成 30 年度一般廃棄物処理実施計画 (案) について

- ・ 概要説明 (事務局)
- ・ 審議

○審議内容

委員	平成 29 年度の一般廃棄物処理計画量と見込み量 (実績) の差異はどの程度か。資源ごみ量が減少する中で、平成 30 年度計画の資源ごみ量を増加した理由は。また、増加する新たな対策等はあるのか。
事務局	<p>平成 29 年度の可燃ごみ計画量 13,371 t に対し見込み量は 13,490 t、不燃ごみ計画量 407 t に対し見込み量は 409 t、資源ごみの計画量 3,323 t に対し見込み量は 3,139 t、粗大ごみ計画量 7 t に対し見込み量は同じ 7 t、有害ごみの計画量 22 t に対し見込み量は 23 t である。計画量合計の 17,130 t に対し見込み量は 17,068 t となっている。</p> <p>資源ごみについては、昨年度の審議会でもお話ししたとおり、資源化率が今までは 20% 超えていたが、平成 29 年度計画では 19.4% と実態に合わせた減少計画となった。また本年度 9 月の新聞記事にあるように、大手のスーパー等で店頭資源回収が進んでいることから、大幅に資源物の回収が減っている状況であり、他市も同様である。</p> <p>市では、市内民間事業者 10 社に店頭資源ごみ回収量をアンケート調査した結果、缶類が 31 t・ペットボトル 59 t・紙 949 t・紙パック 10 t となり、1,000 t 以上が民間の回収量となっている。平成 27 年度の国の資源化率は 20.4%、県は 23.0%、市は 21.1% となっている。資源化率は国・県・他市等でも減少してきている。</p> <p>平成 30 年度の計画で資源ごみ量を増加した理由は、区・自治会・団体への資源物回収奨励金を交付する中で、各団体等の活動の充実を図るために、公共のごみステーションへのごみ搬出を推進する宣伝・PR 等を進めていきたいと考え計画量を増量した。</p>

委員	平成 29 年度の資源ごみの計画量 3,323 t に対し見込み量は 3,139 t とかなり下回っている中で、平成 30 年度計画の 3,150 t はかなり厳しいのではないかと。平成 29 年度を上回った計画量とするならば、宣伝・PR だけではなく、具体的な対策が必要ではないかと。
事務局	市ではリサイクルの推進を図る目的で、各種団体への奨励金を交付しているが、ごみ処理有料化実施以降の数年後に、種々の理由から奨励金の金額を減額したことも影響があると考え。区・自治会への奨励金は据え置きとしている。新たな方策を検討していきたい。 少しでも資源化率を上げ、平成 29 年度の見込み量を超える目標とすることから、平成 30 年度の計画量を 3,150 t という数値とした。
委員	平成 26 年度資源化計画の資源化率は 23.6%、平成 27 年度は 22.3%、平成 28 年度は 21% と下がってきている。店舗等回収分を含めると資源化率はどのくらいか。千曲市は細かなごみの分別をしていることから、資源化率は良い方ではないかと。
事務局	単純に民間回収の資源物を加えると資源化率は 23% を超える。 公共のごみステーションは排出時間が限られていることから、搬入時間が長く・ポイント等が付与される店舗等への排出が多いのはやむをえないと考える。
委員	千曲市一般廃棄物処理基本計画として長期計画があるが、前の計画では比較的早く目標を達成した経過があったと聞いている。単年度毎の計画ではなく、数値を目標として計画していくことは考えられないかと。
事務局	現在の千曲市一般廃棄物処理基本計画は、平成 17 年度策定から平成 31 年度までの 15 年間の計画としている。資源化率等は当初策定時の目標を超えて進んでいる。計画途中で具体的な見直しが行えなかったことから、平成 32 年度からの千曲市一般廃棄物処理基本計画では計画期間・内容等を精査し、目標をもって取り組んでいきたいと考える。
委員	し尿・浄化槽汚泥処理量は下水道の普及により減少しているが、まだ普及していない地区等があるため処理量は 0 とならないのか。
事務局	市内では下水道整備がほぼされているが、接続していない方もいるため、し尿・浄化槽汚泥・雑排水汚泥処理は減少しているが 0 とはならない。下水道の普及率は平成 29 年度時点で 94%。千曲衛生センターの処理量も年々減少しており、本年度 1 日あたり 80kl 程度となっている。
委員	下水道普及率 94% には農業集落排水も含まれているか。
事務局	含まれている。
委員	2p の「ごみ処理施設見学会の実施」の対象者は。 3p の「適正処理が困難な廃棄物処理ルート of 検討」とあるが、具体的には何を指すか。
事務局	ごみ処理施設見学会は、各区・自治会から選出されたごみ減量等推進員・公害監視員を対象に、葛尾組合等の処理施設の見学会を開催している。平成 29 年度は 32 名出席。 適正処理が困難な廃棄物処理ルート of 検討は、ごみ処理として市として出来ることは市で行うが、基本的には国・業界等で処理ルートを整備していかなければならないものがある。市だけでなく広範囲的に検討していかなければいけないものである。
委員	ごみ処理施設見学会は、広く対象者を募集して行うのがよいのではないかと。
事務局	今後、募集して行うことを検討する。
委員	廃棄物に関する教育の推進として、千曲市では学校教育の中で副読本を配布しているが、一人あたりの一般廃棄物の排出量が長野管内では全県の平均値よりも約 60 g 多い。長野地域振興局において、夏に食品ロス削減のフォーラムを実施したり、夏休み中に小学生を対象とした長野市内の児童館等で、松本市で作成した「食べ物を大切にしよう」という資料を活用して、計 12 回 500 人ぐらいに環境教育を実施した。県にソフトはあるので千曲市でも活用してほしい。

委員	区のごみステーションにおいて、選別されていないごみやガスの残ったライター等の不燃物を収集業者が置いて行ってしまうので、区長が後始末をしている。区では環境衛生部長を選任しているが、仕事していれば対応できないため、区長が回収・処理して次の収集日に排出している。市として何か良い対応方法はないか。
事務局	ごみの分別・取り残しについて、区長をはじめ区役員の皆様に大変ご協力いただいている。市はごみの減量・リサイクルに向け、他市よりも多い 20 数品目にごみの分別をしている。定められた方法で排出されていないごみや、ごみ処理をする上で適切でない物は収集されない場合がある。今後も区の協力をいただきながら、市としても対応していきたい。
議長	他に意見等ありますか。 それでは、本件につきまして、計画案は適当であると認めてよろしいでしょうか。
委員	異議なし
議長	本件につきまして、計画案は適当であると認める。
議長	答申書の案を事務局で作成しますので、しばらくお待ちください。
	答申書（案）配布
議長	答申書（案）について、お手元にお配りした案のとおりとしたいがよろしいでしょうか。
委員	異議なし
議長	ありがとうございます。
事務局	それでは、会長から市長へ答申書をお渡しします。

6. 答 申

7. 閉 会 副会長